



文化振興基金

育つる、はぐくむ、もつちかへる、あまがやまの文化

文化は、豊かな人間性を育み、人間らしく生きるための糧となるものです。さらに、心に地域への愛着と誇りを生み、地域の魅力を高めます。尼崎市では文化振興基金への寄付を募集しており、いただいた寄付金は若い世代の芸術体験や伝統文化の継承などの文化事業に役立てています。ふるさと納税のほか、企業や団体からも寄付いただけます。皆様からのご支援をお願いいたします。

尼崎市 文化振興課
〒660-8501
兵庫県尼崎市東七松町 1 丁目 23 番 1 号
ama-art@city.amagasaki.hyogo.jp
TEL.06-6489-6385
FAX.06-6489-6702

尼崎市文化振興基金 これまでの活用について

中学・高校吹奏楽部公開レッスンコンサート（令和元年度～）

楽譜どおりに演奏するのではなく、その曲が書かれた時代背景や作曲者の意図・心情などを、世界的に活躍する指揮者から学びながら、音符の中に潜む意味合いを読み取り、幅広い音楽性、表現力豊かな音楽づくりをめざします。



令和5年度開催の様子



平成30年度開催の様子

尼崎薪能（令和5年度）

尼崎市の大物川はかつて大物浦と呼ばれた入り江で、源頼朝に追われた源義経が静御前に別れを告げて船出をした場所とされています。これを描いた能楽「船弁慶」にちなんで行事として、昭和55年から大物川緑地公園野外能舞台において「尼崎薪能」が開催され、尼崎は、能楽「船弁慶」ゆかりの地として親しまれてきました。令和5年度の「尼崎薪能」は、尼崎城の野外特設舞台にて開催しました。



令和5年度開催の様子



あまがさきみんなのミュージックフェスティバル（令和5年度～）

市内で最も大きなホールでの演奏体験によって夢へのチャレンジを後押ししたい、また身近なステージで演奏者と観客が一体となって楽しむことで、音楽に親しむ市民が増えてほしいと考え、令和5年度に初めて開催した、市民参加型音楽イベントです。



令和5年度開催の様子



今後の活用について

白髪一雄生誕100年記念事業（令和5年～令和6年度）

令和5年度から白髪一雄生誕100年記念プレ事業として、ロゴマークデザインの公募を行い、令和6年度に迎える生誕100年記念事業に向けて広報を進めています。記念事業では白髪一雄の画業や人物像に迫る展覧会等を開催する予定です。白髪作品のダイナミックさだけでなく、新しいことに挑戦し続ける精神、地域との深い関わりなどについてもより多くの方に知っていただき、本市の誇りとしていく機会となるように実施いたします。



「足で描く白髪一雄 1963年」

白髪一雄発信プロジェクト（令和元年～令和5年度）

尼崎市ゆかりの画家で、世界的に高く評価されている白髪一雄の作品やゆかりの品などを、全国の主要な美術館で展示しました。本市の誇りである白髪の画業を発信していくことで、まちの魅力を国内外に広くPRすることを目的としています。



北九州市立美術館 開催の様子



青森県立美術館 開催の様子

大近松祭（令和5年度）

尼崎市の久々知にある広済寺には、日本が世界に誇る江戸時代の劇作家・近松門左衛門の墓があり、尼崎市は近松ゆかりのまちとして知られています。昭和11年には、広済寺周辺の地域の人々によって近松の偉業を顕彰する「大近松祭」が初めて開催され、その後毎年開催しています。令和5年は近松没後300回忌の節目となり「大近松祭 - 三百年祭 -」を開催しました。



「大近松祭 - 三百年祭 -」開催の様子



詳しくはこちらから
（尼崎市ホームページ）

桂米朝顕彰事業（令和6年度）

令和6年度に尼崎市にゆかりのある桂米朝の没後10年を迎えるにあたり、幼少期からの足跡をたどり、芸能活動の功績を紹介する展覧会を開催します。また、同時期に米朝一門による落語会を開催し、高校生以下を無料招待*することにより、多くの人に影響を与え、語り継がれている功績を伝え、次世代に繋いでいく取組として実施いたします。

*無料招待は人数制限があります。

